


加工場新設
ガラスは
 シバヤマへ
 平町古鍛冶町縣社下
柴山硝子店

肺病ロクマクの妙薬
 ホシアンチツベルケン
 (五日分定價一圓八錢)
 過去十有八年幾多の人を救
 へる東洋一の此靈藥
 肺を病む人 迷ふ勿れ
 疑ふ勿れ 信賴せよ
 平町三丁目
 ホシチエーンストア
 電話四二九番

忘る、勿れ
 平町の代表的
 玩具問屋
森下商店
 まめや号

看護婦派出
 の求めに應ず
平看護婦會
 電話三〇七番

集募員社部賣販



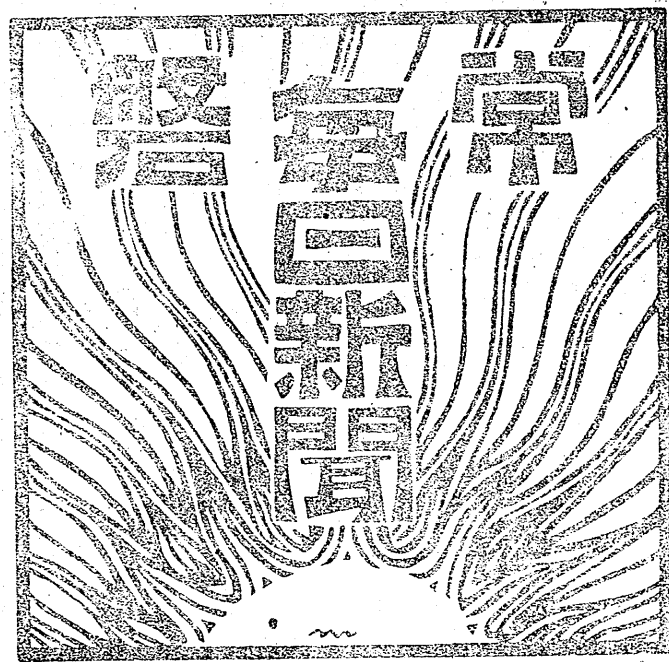
Singer Educational Department
 Sewing School
 院學女縫裁一ガソ

社 會 シ ミ ー ガ ン シ 横 ノ 一 町 平

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平南町 (電話一七〇番)

敷島のヒヨケ如何に
 人さわば
 朝日夕日に便利なる品
 當店取附のヒヨケに限り材料を要せざる破損は無料に
 てヒヨケ修繕をいたします
 平町白銀町九
敷島ヒヨケ店

氣心地の良い
合服が澤山揃って居ります
 黒立襟上下ガ六圓ヨリ貳拾圓マデ
 背廣三つ但拾參圓位ヨリ
 平町二丁目 (電話二〇三番)
なかや洋服店



刊夕日五十二月四

日刊 發行兼編輯人 川崎文治
 本社下町番地 (電話六三〇番)
 常警毎日印刷所

定部金貳錢 廣五錢十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 一ヶ月廿五錢 寄字詰一行 料五十錢 日刊 祝日ノ翌 發行所 常警毎日新聞社 電話六三〇番

常警毎日新聞
新時代の新高賣
 (九) 清水正巳

私は此商品を販賣する事は可成り面白いと思つたので市外大森馬込谷中にある透泉閣と云ふ其發賣元の主人を呼んでいろ／＼聞いた處「地方で販賣して下さるなら、まづ最初は二十圓位も商品を仕入れて頂いて、ごし／＼賣れるやうだつたら盛んにおやりになると云ふ安全な方法で進まれたら如何かと存じます」と云ふ事であつた。其位の小資本で始められるならば誠に都合

吉 吳服店の開店十五週年 記念春物大賣出し
 外出用モスリン着尺大豊富
 ◎クレイヤート式着尺 反 三圓七拾錢 (但一日五拾反限)
 ◎シヤリムーブ着尺 全 四圓五拾錢
 ◎モダン式乙女着尺 全 五圓
 ◎モス友仙 尺 十 三 錢
 ◎ナフトールモス友仙柄全 三 三 錢
 流行新柄澤山取揃値段も此の割合に極く安く呈與致します
 平町四丁目
吉 喜好屋吳服店

原齒科醫院
 平町土橋通り電話三一三番

金印 優秀品の証明
草野染工場
 電話三四八番 磐城 平町

南部鐵瓶 日掛 御便宜ニ致シマス
ホーキン 爐力ギ 大中小 精巧優美 各種 ナ作デス
 南町廿九番地
南部屋

松ヶ岡カフエーの開業一週年記念
福引 一圓以上の顧客に 洩れなく福引進呈
是非立寄り を
 平町研町通り 松ヶ岡カフエー

一冊の代金で 御希望通りのな
五冊の雑誌が 自由に讀める
川崎 文庫
 電話六三〇番 (中込次第規則書進呈)

い商賣があらう。それを見付けて一つおやんなさいと申上げて筆を擱く

銀行の爲めばかりか 預金者の爲めに喜ぶ

東京の騒ぎが波及せず

平町は極めて平穩無事

木村平銀事務語る

臨時休業のあけの本日平町の各銀行は夫々相當な紙幣束を山と積んで萬一に備ふる所あり或行き如何と待ち構へて居たが何等

平常こそ 異る所なく

取付け騒ぎは何處吹く風と云つた調子で流石に同地方の財界の底力を充分に示した然もドツシリと落ち付いた預金者の平靜振りを見かすも、これで各銀行も難關の突破が出来たのである、もう峠は越えた、これから益々盤石の重みを加へて堅實なる

基礎を 固むる事に

なるであらう、右に關し平銀行の木村事務は語る『まさか東京とは全々事情を異にして居るから大丈夫預金者各位も冷靜を失ふ様な事はあるまいと大いに安心はして居たものの全國各銀行の申合せに基いて休業した揚句であるからそんなものか多少の心配はあつた

然るに 今日になつ

て見ると預金者各位は充分に理解を持たれたと見れば私の處ばかりでなく平町の各同業が一寸も平常と異らぬ營業状態である、此状態なればもう少しも心配はない全く當地方に東京の騒ぎが

昨日の青年團總會

役員改選及び功勞者表彰

既報平青年團にては昨日午後一時より平第一小學校に於て春季總會を開き鈴木幹長挨拶を述べ緑川副團長の庶務、馬目副團長の會計各報告に次ぎ決算及び豫算を可決し役員選舉の結果

△團長、三森虎雄△副團長、緑川喜三郎、馬目武之助△副團長、川崎文治△同僚委員、金成泉一郎、關内喜久次郎

△何れも再選、次いで新川町分團長諸橋正次氏外八名を同團の功勞者として表彰

井上縣議の祝辭、諸橋受賞者總代の答辭あつて入山探炭經理課長吉田宗雄氏の「最近の勞農ロシヤの現状」と題する有益なる講演あつて閉會後谷口樓に退團幹部を招待盛んな懇親會を開いた

亂暴齒科醫

ステツキで 工夫を毆打

茨城縣多賀郡大津町齒科醫佐川文彦(三)は二十四日午前十一時半ころ平町松ケ岡公園下鐵道線路を通行し作業中の線路工夫根本八郎、

ぬかどステツキで八郎の面部を毆打したので告訴され取調中

飾つた努力

消防組に感謝

松ケ岡公園と新川端に目もあやなす夜ざくららの美觀を現出し一層平町の春を飾つた雪洞や提灯は今年より平消防組の手で萬遺憾なく準備された處點燈一夜にして風雨のために中にはその形骸をさへ止めぬ迄に破損したのも少なくかつたが主催の消防組では利害を度外視して早速之れを再製點火し初期通り例年以上夜の平町を彩つたので一般は消防組の努力に對し少からず感謝してゐる

約一萬圓の 國寶盜

大野藥王寺で

石城郡大野村字花輪眞言宗藥王寺秘藏の國寶絹本着色彌勒菩薩尊(巨名派の筆になり八百年前の作といはれるもの)外佛畫の掛物九點價格約一萬圓を竊取されたのを廿三日住職が發見大騒ぎとなり四倉署から係官出張現場を調査し犯人嚴探中

柏木家の不幸

らき新聞平支局長柏木哲氏令兄柏木諱氏の文子夫人は既報の如く去る八日名古屋に於て逝去したが其葬儀は廿七日午後二時湯本町の自宅出棺同町勝院に於て佛式を以つて執行すると

にびきの除き方

春先はごなたもにびきが出来るやすい時でありますからその除き方を心得て置く必要が有ります、元來にびき



家庭欄

は脂肪過多のため出来るのが普通でありますからなるべく食べ物にあつさりした物を用ひるやう注意せねばなりません、にびきを除くには先づ入浴の際タオルで二三回お顔を蒸し、にびき取り匙で白い塊を押し出してからライラック水等お化粧水とマツサージュクリーム

明日平町にて

プロ文學の講演會

文藝解放社の同人

東京の文藝解放社では明日廿六日午後六時から南町日本キリスト教會にて平町詩の會後援の許に文藝大講演會を開く事になつた、入場料廿錢、同會の趣旨書及び當日のプログラムは左の如くである

文藝講演會開催に就て

新興階級の擡頭に伴つて健康なる羽翼を伸ばしつつあつたプロレタリア文學もあの震災後の反動的思潮のために一頓挫を來たすに至つたが、最近に於て、新ら

しき潜勢力を内部に染んで再びその生氣濺たる姿を社會の表面に現はして來た我々はこの客觀的情勢に鑑み、我等年來の主義主張を社會全体に深く徹底せしめるために、本年一月、同人数名の手に依つて文藝解放社なるものを組織し、機關紙として「文藝解放」を發刊するに至つた。同志は既に號を重ねること四度び、全誌面に活氣横溢せる我等の雜誌は、益々健やかに生長し、發展を遂げんとしつつ

ある。文學は元來最も民衆的なものでなければならぬ。殊に我々の確立せんとするプロレタリア文學は民衆全体の中に深く浸潤することに於て、始めて、好き花を開き、好き實を結ぶことが出来るのである。故に、我々は單に中央都市に止まるを潔しとせず我々の理論と主張とを直接諸君に訴へるために、こゝに地方講演なるものを思ひ立つた譯である。

今回の我々の地方講演の振出地なる水戸に於ける文藝講演會は、去る二十四日同市商業會議所議事堂に於て開催されたが、プロレタリア文學を要する地方青年諸君の熱心なる支持によつ

て、我々の豫期する以上の成果を收めること出来たのは、我々同人一同の欣快に堪へぬところである。これによつて百倍の勇氣を得た我々は、この地に於ける新らしき時代を要望する青年諸君に、我々の文學と理論とを直接訴へることによつて廣く其感を得たい次第である。

新時代を要望する諸君!! 來たつて我々の叫びに耳を傾けよ!!

文學運動の現在と未來
飯田徳太郎
ロシア文壇の現状
高橋勝之
新興詩壇の傾向
渡邊
我等の文學 萩原恭次郎
明るい文學と暗い文學 壺井繁治
詩の朗讀
草野心平、土方定一、中野勇雄、松本純一、高瀬勝男、三野混沌、石川武夫、江森盛彌、渡邊渡、金井新作、松村清、妻木泰

脚本朗讀
表現派戯曲 海戰(テヅリ) 野村胡堂
第一の水兵(金井新三郎)
第二の水兵(飯田徳太郎)
第三の水兵(壺井繁治)
第四の水兵(江森盛彌)
第五の水兵(高橋勝之)
第六の水兵(高橋勝之)
第七の水兵(高橋勝之)